

【第6回 蒲田西プラットフォーム開催内容】

◆開催日:7月16日(金)18時~19時15分

◆場所:社会福祉センター 会議室

◆参加者:30名

地域関係者、介護事業者、障害者福祉事業者、東京工科大学、シニアクラブ、民生委員児童委員、社会福祉法人、NPO 法人、(株)JCOM、民間企業、大田区役所職員等。

◆内容:

①参加者から地域での活動紹介

・ステップ夢

・HANPA蓮沼

(1)地域・日々の活動への思い

(2)地域活動の取組みの紹介



《プラットフォームの風景》

②グループワーク形式(6グループ)の話し合い

【テーマ:コロナ禍で見えづらくなっている地域の『今』を知り合ひましょう】

■認知症の方の地域での居場所・役割について ~小規模多機能型居宅介護・(株)ケアサービス~

地域で受け入れるために、どのようなことが必要か？

地域で果たせる役割や地域での居場所がないか、考えてみましょう。

- ・『とくべつ』なことではなく、身近なこととして、考えることが大切。
- ・接し方等、正しい知識を持つことが大切。強みがたくさんある。
- ・元気な時から地域のコミュニティに参加していることも必要。
- ・元気な時から人と話す場に身を置くようなことも予防につながる。
- ・子どもたちとの交流機会を地域で作ることも大切ではないか。
- ・日々の生活の中で、触れ合う人に理解者を多く作ることが、共生につながる。
- ・認知症であることを隠さず、オープンにすることも大切。

■アンケート結果:参加満足度:80%

主な参加者の声:

- ・回を重ねるごとに知っている方が増え、『何ができるのでは?』という想いが強くなっています。
- ・様々な角度での意見を聞くことができたので、とても良い場になりました。
- ・地域にこんなにたくさん活躍されている方々が、いらっしゃるのは、心強く感じます。
- ・認知症についての理解を深めることができ、一人一人違うこと、一人の人間として接するということが大切だと知ることができました。
- ・テーマが絞れていて、話しやすいと感じました。
- ・人が多く集まり、話し合うことで、多くの知恵が集まり、楽しいと感じました。
- ・普段知らない内容について知ることができ、非常に良かった。今後もこのような場を設けていただき、自らの活動に活かしていきたい。